

特別座談会

DEVELOPTONIA の仲間たち × 茨大生

千葉 なぜ日立市で起業したのですか？

大場 県北地域の中心である日立市で起業して成功することで、県北地域全体の活性化につながると考えました。

奥田 茨城大学と共同研究のきっかけを教えてください。

大場 起業後、サービスの根幹となるAIの質をどうやって高めていくか考えていた際、茨城大学に相談したところ、AI研究を専門とする新納浩幸教授に興味をもっていただいたご縁で共同で研究に取り組むことになってきました。

千葉 起業には大きなリスクが伴うという話をよく聞きます。リスクに対して、どう向き合ったのかをお聞きしたいです。

大場 リスクを取れる人は2パターンあり、1つは、実家がお金持ちや貯蓄がある人など「リスクヘッジ」を十分に行っている人。2つ目は、失敗してもなんとかなるみたいなの自信がある人です。私は、後者の方に近いかもしれませんね。

新納 私は挑戦をしないこと自体がリスクになると感じています。また、世の中はリスクを取った人にお金が回るような仕組みになっているように

な気がしますね。

大場 そうですね。だから、リスクだけを考えるのではなくリターンの方も同時に考えて、リターンがリスクよりも大きいならば挑戦するほうがいいと思います。

奥田 大学生の私たちは、リスクばかりを考えてしまう人も多いと思うので、それと同時に何が得られるかを考えることで挑戦に踏み切れるのかなと思います。

大場 なにかやりたいことがあれば、ぜひ挑戦してみてください。楽しいですよ。



座談会参加者…新納さん（茨城大学工学部教授・同社 CAIO）、濱野さん（同社 AI エンジニア）、山田さん（協力事業者）

編集後記

今回の取材を通して、地域おこし協力隊の活動が地域課題を解決する新しい手段となっていると感じました。そして、大場さんや仲間の方々との対話を通して、私たち学生では気づけなかったリスクの考え方を知りました。取材中、大場さんの言葉一つひとつから感じられる自信に、日立市をビジネスによって盛り上げていく大場さんへの期待の高まりと今後の活動を応援していきたいと思いました。

最後に今回取材に応じてくださった大場さん、DEVELOPTONIA の皆さん、本当にありがとうございました！



ズバリ！大場さんに聞く！

日立市に貢献していきたいことは？

A 一番は、日立市を新しいビジネスモデルを創出する「スタートアップ企業」の一大拠点というイメージに変えたいです。

日立市で創業者の方が活躍できる土台があるんだと感じてもらえれば、ビジネスを始めようとしている人や新しい分野で挑戦をしたい人を引き寄せることができ、地域の雇用の創出や魅力的な面白いビジネスがどんどん生まれ、それが社会課題の解決にもつながっていくと考えています。

そんなチャレンジができるようなまちにしていくためにも、まずは我々がどんどん挑戦して、地域を盛り上げていきたいですね。

茨城県北地域おこし協力隊

大場 一雅 さんに取材してきた！



千葉 瑞香

奥田 杏奈

私たちは茨城大学工学部の学生です。
今回は、県北地域おこし協力隊として、日立市を拠点に活動する大場一雅さん取材させていただきました。
DEVELOPTONIAのAIを活用した取組や大場さんの考えなどを紹介します！

ガクレポ

「ガクレポ」は、若い世代に市報をもっと身近に感じてもらうため、市の取組や地域課題の解決に向けて取り組む関係団体などを大学生が取材し、記事を作成するものです。今回は、茨城大学の学生が作成しました。

問合せ 広報戦略課
☎ 内線 717

ビジネスに国境のない世界の実現を

DEVELOPTONIA

大場さんは、2023年9月1日に茨城県北地域おこし協力隊として着任すると同時に、この日立市に株式会社 DEVELOPTONIA を設立しました。

株式会社 DEVELOPTONIA は、「ビジネスにとって国境のない世界を作る」をミッションとして掲げ、生成AIを活用して、途上国・新興国に進出する企業を支援する事業に取り組んでいます。



新興国・途上国での販路拡大を目指す企業の課題

- 適切な情報をタイムリーに得ることができない
- 情報を取得し、ビジネスレポートを作成するコストが高い
- ビジネスレポート作成業務の負担が大きい

独
自
生
成
AI
「**KiAI**」
を
活
用
し
て
一
拳
に
解
決

DEVELOPTONIA 「KiAI」

- 途上国・新興国のニュースを網羅する情報サービス
さまざまな国に関する情報を網羅的に提供。日本語タイトルをクリックするだけで現地の情報が翻訳され、簡単に情報を集めることができます。
- AIによるビジネスレポート自動作成サービス
生成AIがビジネスレポートを自動作成。各国政府の情報などから、市場調査や販路拡大に役立つビジネスレポートを作成することができます。

Point

茨城大学と共同で AI 開発

生成AI「KiAI」。
その開発に茨城大学工学部の新納浩幸教授と共同で取り組んでいます。



各国政府と協定を締結

各国政府*と協力し、情報取得の協力体制を構築。より信頼性の高い情報を収集・発信しています。



*ウズベキスタン共和国・キルギス共和国と締結